

DOCTOR+ASE

Japan
Medical
Association
日本医師会

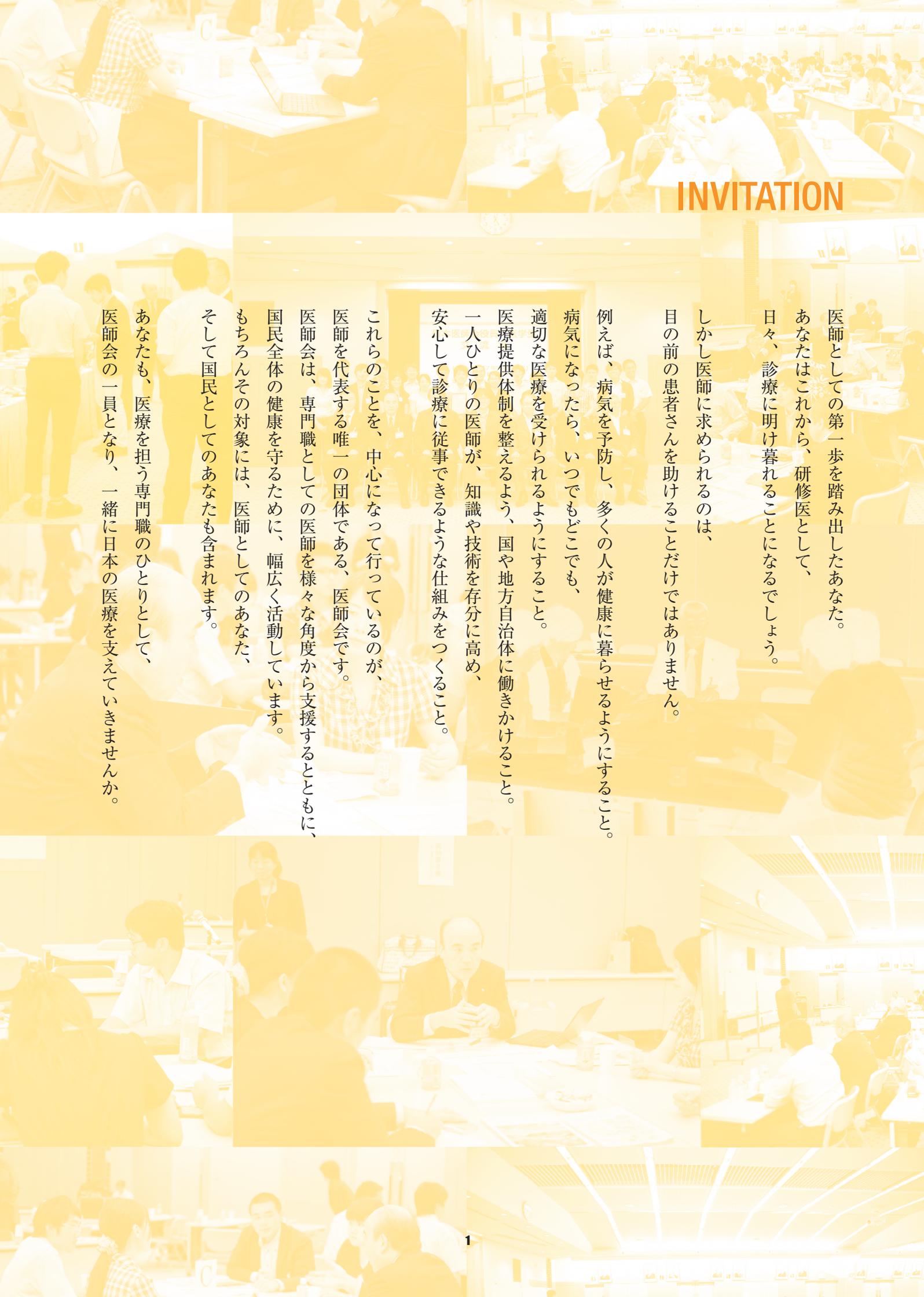
医師会のことをもっとよく知ってもらうために [ドクター+ゼ別冊]

別冊

あなたと 医師会

日本医師会
研修医・若手医師のための
入会案内冊子





INVITATION

医師としての第一歩を踏み出したあなた。

あなたはこれから、研修医として、

日々、診療に明け暮れることになるでしょう。

しかし医師に求められるのは、

目の前の患者さんを助けることだけではありません。

例えば、病気を予防し、多くの人が健康に暮らせるようにすること。

病気になったら、いつでもどこでも、

適切な医療を受けられるようにすること。

医療提供体制を整えるよう、国や地方自治体に働きかけること。

一人ひとりの医師が、知識や技術を存分に高め、

安心して診療に従事できるような仕組みをつくること。

これらのことを、中心になって行っているのが、

医師を代表する唯一の団体である、医師会です。

医師会は、専門職としての医師を様々な角度から支援するとともに、

国民全体の健康を守るために、幅広く活動しています。

もちろんその対象には、医師としてのあなた、

そして国民としてのあなたも含まれます。

あなたも、医療を担う専門職のひとりとして、

医師会の一員となり、一緒に日本の医療を支えていきませんか。



INDEX

- 1 INVITATION
- 2 INDEX
- 3 医師からのメッセージ

- 5 マンガで読む あなたと医師会
 - scene 1 医師会って…？
 - scene 2 医療機関の連携を支える
 - scene 3 サポート体制も充実
 - scene 4 若手の声を届けよう
地域の医療を支える！！医師会！

- 15 会員を支える4つの安心

- 17 TOPIC 1 大学や都市部でなくても教育・交流の機会を得られる
- 19 TOPIC 2 非常勤など、多様な働き方を支える
- 21 TOPIC 3 医師を引退した後の備えができる
- 23 TOPIC 4 育児・介護と仕事の両立を支援する
- 25 TOPIC 5 医事紛争から医師を守る

- 27 VOICE 医師会に入った先輩の体験談

- 29 入会のご案内 医師会に入会するには？
- 30 都道府県医師会連絡先一覧

医師からのメッセージ



医師会は、医師として壁にぶつかったときや、
新しいことをやる時、必ず力になってくれます

海堂尊

Aiの普及と医師会

私は、医師として、そして作家として、Ai（死亡時画像診断）の普及活動をしていました。Aiとは、亡くなった方の遺体をCTやMRIで画像診断し、死因を究明する方法です。本来死因究明が必要なのに解剖が実施できないことも多いなか、市民と社会の納得を得るためにも、Aiを多くの事例で行っていく必要があると、私は主張して来ました。しかし、Aiの普及は一筋縄にはいきませんでした。

国への働きかけがうまく進まず苛立っていた2007年、日本医師会の役員から、作家としての私に話を聞きたいという連

絡がありました。その際にAiの重要性について3分ほど話をしたところ、「それは重要ですね、是非やりましょう」と二つ返事で引き受けてくれた。正直、そんなにうまく話が通じたはずがないと思いましたが、それから間もなく、Aiの検討会が本当に立ち上がったのです。

それから毎年、年に1度の検討会を行い、提言を続けた結果、2014年からAiを用いて小児死亡例の死因究明をする厚生労働省のモデル事業が始まりました。

守ってくれるのは、医師会

このことで随分お世話になったので、私も医師会に入会しよ

うと思ったのですが、役員の方から「むしろ外部の応援団でいて下さい」と言われ、お言葉に甘えています。けれど今、研修医時代の自分にアドバイスするとしたら、「医師会に入っておけ」と言います。みなさんの、医師の様々な権利を守ってくれ、社会のためになる活動を自発的に推進してくれるような団体は、医師会しか見当たりません。私の主張を具体的に展開してくれたのが医師会だけだったことから明らかです。医師会は、何か新しいことをしようとしたとき、きつと力になってくれると思います。

海堂尊 かいどう たける

作家／放射線医学総合研究所 Ai情報研究推進室室長

1988年、千葉大学医学部卒業。外科医、病理医を経て、現在は放射線医学総合研究所重粒子医学センター Ai情報研究推進室室長。2005年、『チーム・バチスタの栄光』で「このミステリーがすごい!」大賞を受賞し、翌年、作家デビュー。以降、作家としても活躍する。他の著書に『ジェネラル・ルージュの凱旋』『ケルベロスの肖像』などがある。



日本全体の医療も、地域の最前線の医療も 医師会が支えてくれています

林 伸 宇

医師の代表としての医師会

私が初めて医師会と関わったのは、大学院生だった2012年、日本医師会・ジュニアドクターズネットワーク（JMA-JDN）の活動に参加することになったときでした。そこで私は、世界医師会に若手医師の組織であるジュニアドクターズネットワーク（JDN）ができたこと、その流れの中で日本医師会もJMA-JDNを起ち上げたことを知りました。

JMA-JDNの活動を始めた頃、私は医師会員ではなく、医師会についてほとんど何も知りませんでした。しかし活動に参加するうち、医師会が果たしている役割について、少しずつ知るようになりました。例えば、世界医師会の会議で日本代表としてディスカッションするのは医師会です。国内・海外における災害や感染症流行の際、医師の派遣・受け入れのマネジメントは、医師会が国と共に行っています。医師会は、医師という専門職の代表として、日本の医療を支えているのです。

地域医療の最前線を支える

2015年、私は練馬区の在宅医療のクリニックの院長とし

て、医師会に入会しました。開業医として医師会に入ってみると、医師会のもう一つの側面、すなわち地域の最前線で働く医師たちを手厚く支える姿が見えてきました。

例えば、医師会に入ることによって、地域の医療を支えている医師と直接話ができる機会が増えました。勉強会や交流会を通じて、地域の医療資源の実態を把握できるとなりましたし、他職種からも信頼を得やすくなったと感じます。

在宅医療を行っていくうえで、医師会に入ることには不可欠であると実感しています。これからは自分自身も医師会活動を通じて、地域の医療により貢献していけたらと考えています。

林 伸宇 はやし しんう

医療法人社団鉄祐会 祐ホームクリニック平和台 院長
日本プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医

2007年、千葉大学医学部卒業。2013年、東京大学大学院公共健康医学専攻修了。大森赤十字病院、医療法人社団鉄祐会などでの勤務を経て、2015年7月に同法人祐ホームクリニック平和台の院長に就任。2012年よりJMA-JDNの活動に参加。



〇〇大学病院
研修医 1年目
安田 研一

〇〇大学病院
研修医 1年目
生田 修子

生田さん！



あ、安田くん
お疲れ〜

お〜！

歓迎会とか面倒だなあ…
毎日毎日
オリエンテーションやら
説明会が多くて…

医師会とか
研修医の俺たちに
関係あるの？

ん〜、でも私は
医師会に入ろうと
思ってるよ？

マンガで読む
あなたと
医師会

scene 1

医師会って…？

医師会は、日本で唯一医師を代表する職能団体です。

医師会員の半分は勤務医

研修医のみなさんにとって、医師会は今まで身近な存在ではなかったかもしれませんが。漫画の中の安田くんのように「自分には関係ない」「開業医のための団体なのでは」と思っている人も少なくないのではないのでしょうか。しかし医師会は医師であれば誰でも入れる団体であり、現に会員の約半分が勤務医で構成されています。

様々な立場や年次の医師が所属し、互いに支えあいながら日本の医療を良くしていこうとする組織——それが医師会です。学術研究や医療安全などの推進に関わっている、医師を代表する唯一の職能団体なのです。

え？
医師会って
開業医が入るもの
じゃないの？

まあ、私も父が開業医だから
医師会のこと知ってるだけ
かもしれないけど：

医師会の
会員の半分は
勤務医なんだよ

マジで

しらなかつた：
でも正直
医師会って
入る意味
なくない？

じいちゃんも...
じいちゃんも...

それに
無料だし

無料!?

おーっ♡

いや、
高は、
いも、
は...

お、
生田先生のとこの！
今年から研修か！！

人によって考え方が
違うかもしれないけど
地域では大事な役目を
果たしてると思うし

意外と私たちの生活に
身近なことも
やってるんだよ

勉強会

研修医は会費が無料！

日本医師会は2015年度から、臨床研修医の会費を無料化しました。また、郡市区等医師会・都道府県医師会に対し、会費負担の軽減を働きかけるなど、給与水準の低い臨床研修医が、金銭的な負担なく医師会に入会できるよう努めています。この背景には、広く門戸をひらき、より多くの研修医や若手の勤務医に医師会活動に参加してほしいという思いがあります。

地域住民の健康を守る

医師会の活動を具体的にイメージできる人は多くないでしょう。ここでは、地域の医師会活動の一例をご紹介します。

例えば、各種健康診断や予防接種を推進したり、地域の休日・夜間診療を輪番で回したりするのは医師会の役割です。地域の感染症の患者数を取りまとめ報告したり、ワクチンの適正な配分調整を行ったりもします。また、労働者の健康を守る産業医を認定する講習も、医師会が行っています。

このように医師会は、私たちに身近なところで、地域住民の健康を守っているのです。



市立病院
外科部長
白井 守



安田くん、
こちら市立病院の
外科部長の白井先生

いま、安田くんにも
なんで研修医なのに
医師会に入るのかわか
りかねてたんです

俺も外科志望で…

そうか…僕も
若い時は医師会に
自分が入会するとは思
ってなかったしなあ



え、白井先生も
医師会に入ってる
んですか？



そりやそうだよ

市立病院で
部長をやるのに
医師会に入らないと
仕事にならないからね

scene 2
**医療機関の
連携を支える**
基幹病院とかかりつけ医の連携を支えるのも、医師会の役割です。

医師会は
ボランティア集団？

では、医師会はどのようにして成り立ってきたのでしょうか？
実は医師会は、上からの命令によってできた組織ではありません。地域の最前線で働く医師たちが、地域住民の健康を支えるため、自主的に集まって活動してきた組織なのです。予防接種や健診を引き受けるために医師会に入った開業医が、活動するうちに役員になったという例もあります。「もう少し医療を良くしたいな」「何とかできないかな」と感じた医師たちの集団が、いまの医師会の土台となったのです。



医師会は医師のネットワーク

さて、よく話題になるのが、勤務医が医師会に入る理由についてです。ここまでの話を踏まえて考えても、勤務医と医師会が結びつかないと感じる人も少なくないでしょう。

しかし、昨今の医療は大規模病院だけで完結するものではなく、地域の医療機関、特に診療所などのかかりつけ医との連携が欠かせません。基幹病院の勤務医と、地域のかかりつけ医とが、普段から互いに顔の見える関係を築き、情報交換を行うことによって、よりスムーズに連携して患者さんを診ることが可能となります。医師会は地域の中で、医師同士・医療機関同士の連携を支えるネットワークの役割を果たしていますから、多くの患者さんの紹介を受け入れる基幹病院の勤務医にとっても、医師会のネットワークは大きな意味を持つのです。



あくでも私は
現実的な
メリットも
あるから入ろうと
思ったんだよ



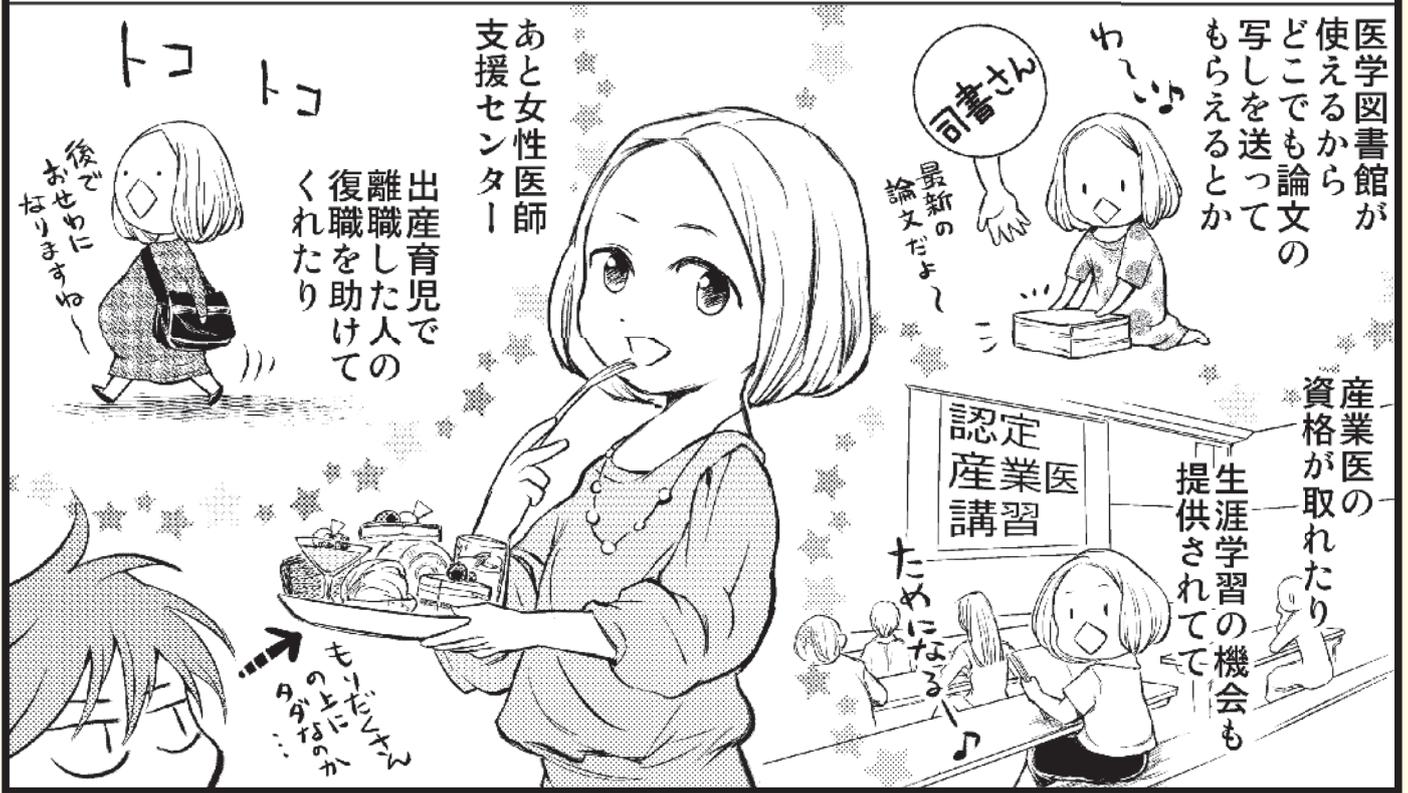
まあ確かに
研修医のうちは
ピンとこない
かもねえ…

結局開業医の
話になってる…
地域医療を支える
ボランティアとか
まだまだ現実感
無いですし…



その辺
詳しく!

デザートには
ピンとこない



あと女性医師
支援センター

出産育児で
離職した人の
復職を助けて
くれたり

後でおせやに
おられますね

最新論文だよ!

認定産業医
講習

産業医の
資格が取れたり
生涯学習の機会も
提供されて

モチベーション
の上には
大丈夫か

scene 3

サポート体制も充実

医師会は、医師が安心して働けるよう、
様々なサポートをしています。

医師同士が互いに助け合う

医師会は、医師たちが医療
を良くしようと自主的に活動し
てきた組織であると同時に、医
師が安心して働くことができる
よう、互助的な役割を果たし
てきた組織でもあります。例え
ば、医師が少ない診療科に対し、
医師会からサポートの医師を派
遣するといった事例もあります。
地域の事情に応じて、医師が疲
弊することなく医療を提供でき
るような環境を整えるのが医師
会の大きな役割です。そのため、
医師会に入会することで得られ
るサポートも多々あります。具
体的なサポート内容の詳細につ
いては、後のページ(P15)で
紹介します。



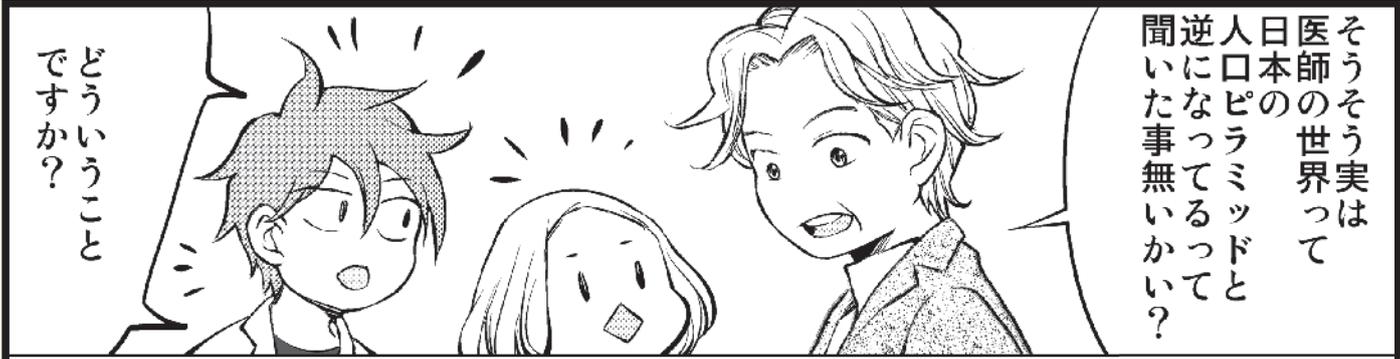
生田さんが感じたメリット以外にも...

- 大学とほぼ同等の研修が受けられる施設がある→P17
- 引退後の将来に備えて「日本医師会年金」に入れる→P21
- 「医賠責」への加入によって紛争解決のサポートを受けられる→P25

ほかにも様々なメリットがあります。詳しくはP15以降をご参照ください。

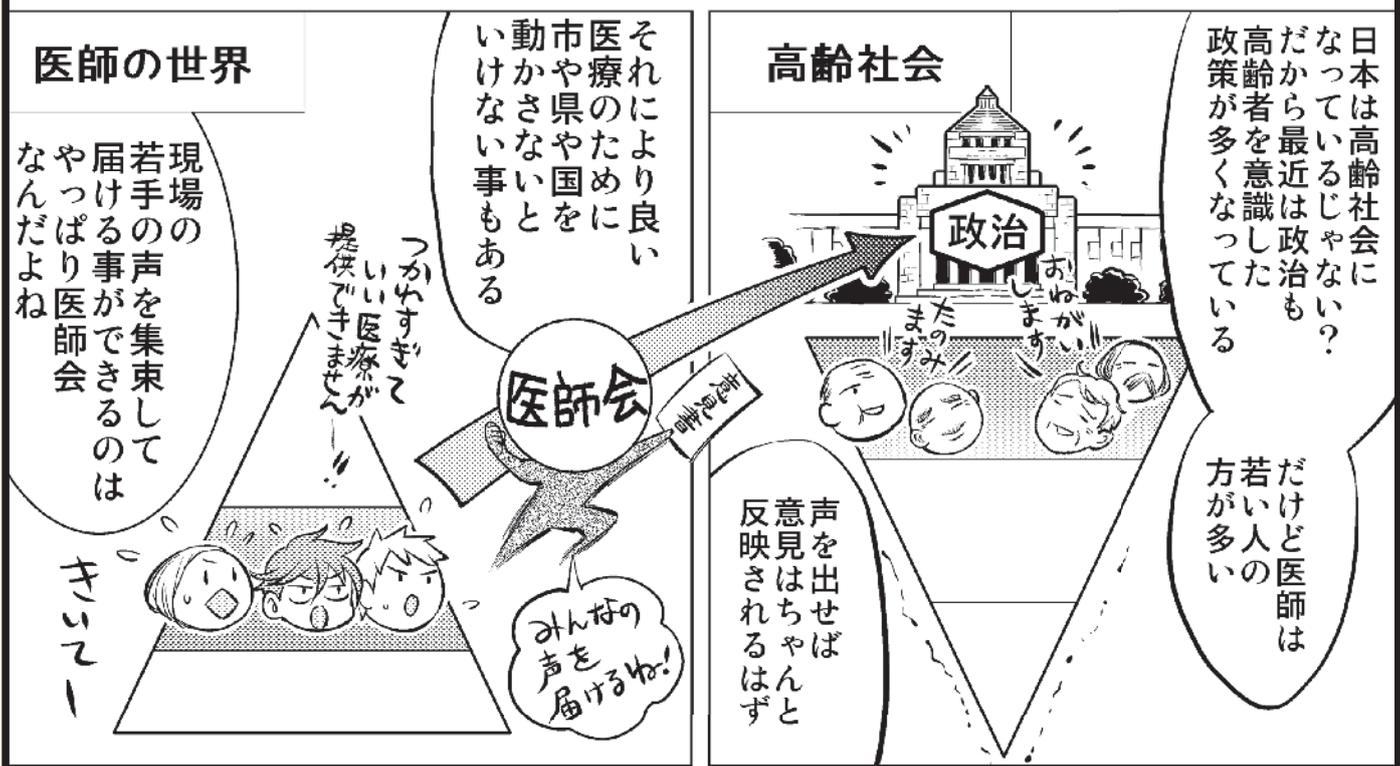
若手もメリットが得られる

ここでは特に、研修医・若手医師でも得られるメリットに焦点を当てて解説しましょう。
 まず上の漫画で生田さんが話している医学生・研修医等をサポートするための会です。こうした会は各地の医師会で行われており、研修医も男女問わず気軽に参加できます。結婚・出産などのライフイベントが訪れる年齢に差し掛かったとき、様々な先輩の経験談を聞ける機会があるのは大きなメリットと言えるでしょう。また、白井先生の言うような研修医の表彰等も各地で行われています。日々のモチベーションにつながる良い機会になるでしょう。



そうそう実は
医師の世界って
日本の
人口ピラミッドと
逆になってるって
聞いた事無いかい？

どういふこと
ですか？



高齢社会

日本は高齢社会に
なっているじゃない？
だから最近政治も
高齢者を意識した
政策が多くなっている

だけど医師は
若い人が多い
方が多い

声を出せば
意見はちゃんと
反映されるはず

それにより良い
医療のために
市や県や国を
動かさないと
いけない事もある

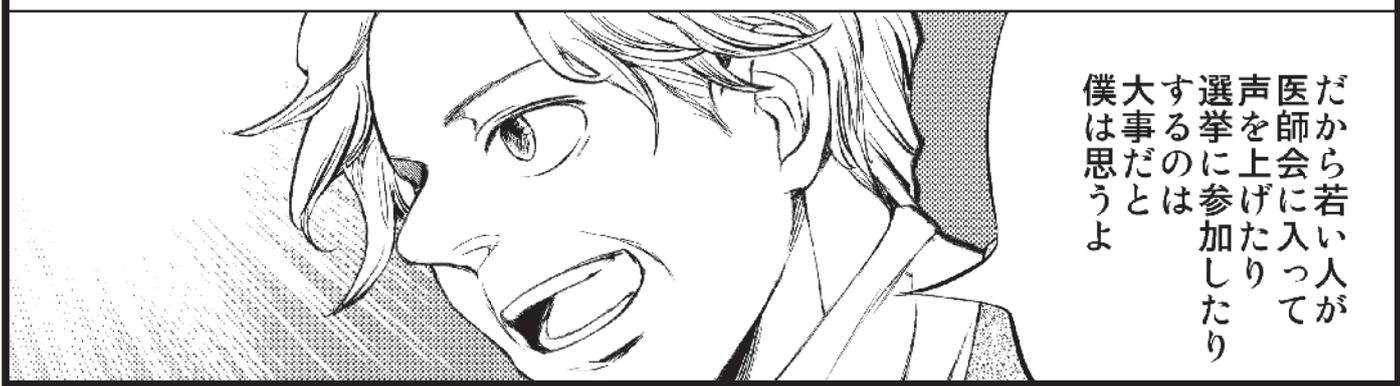
みんなの
声を届けるね!

医師の世界

現場の
若手の声を集束して
届ける事ができるのは
やっぱり医師会
なんだよね

つかやすぎて
いい医療が
提供できません

キーン



だから若い人が
医師会に入って
声を上げたり
選挙に参加したり
するのは
大事だと
僕は思うよ

scene 4

若手の声を届けよう

医師会は、研修医からの意見・要望を積極的に受け入れます。

国の医療政策に関われる

今後さらに少子高齢化が進めば、医療へのニーズもますます高まっていくと予想されます。そのなかで、国民の健康を守り、かつ医師自身が安心して働ける環境を整えるためには、医師という専門職の立場から、ときには国の政策に働きかける必要が出てくるでしょう。

医師会は、医師を代表する唯一の職能団体として、国の政策に対する提言なども行っています。医師会には様々な委員会があり、それぞれの分野で活動する医師が、研究者・勤務医・開業医の区別を問わず参加して議論することで、医師会としての意見をまとめているのです。



だから、医師会に入ろう

医療ニーズが高まると同時に、医師の数も年々増えており、臨床研修医の採用実績も増えてきています。それだけの人数が医師会に入会して声をあげれば大きな力になることは間違いなく、日本の医療政策に若いみなさんの意見を反映できるとも言えます。

医師会も以前に比べて、若手医師への情報発信をする機会が増えてきました。例えば、医学生がこれからの医療を考えるための情報誌『ドクターラゼ』の発行も、これまでにはなかった新たな取り組みと言えます。

そして何よりもこの冊子の存在が、研修医のみなさんの力を求めている大きな証拠と言えます。この冊子を通じて、医師会の意義やメリットを広く理解していただき、多くの若手医師に医師会活動に参加していただくようになれば幸いです。

地域情報を発信!!

自分のいる地域で
どんな病気が
流行しているか
知っていた方がいいよね
医師会では地区レベルで
地域の医療情報を
集めているよ

集めた
医療情報は
郵送やFAXや
WEBで発信!

- ・学校保健
- ・予防接種)



ハイ、ひまわりとしまーす

小学生の頃
学校健診や
予防接種も
医師会の先生が
やってくれて
いたんだね!



地域の医療を支える!!

医師会!

私たちも
一市民として
お世話にな
ってるよ!



夜間休日診療



軽症の急患さんは
こちらへどうぞ

夜間や休日の診療は
ワークライフバランスにも配慮して
医師会員が分担してるんだよ

地域には
診療以外にも
医師が関わる仕事
結構あるんだなあ

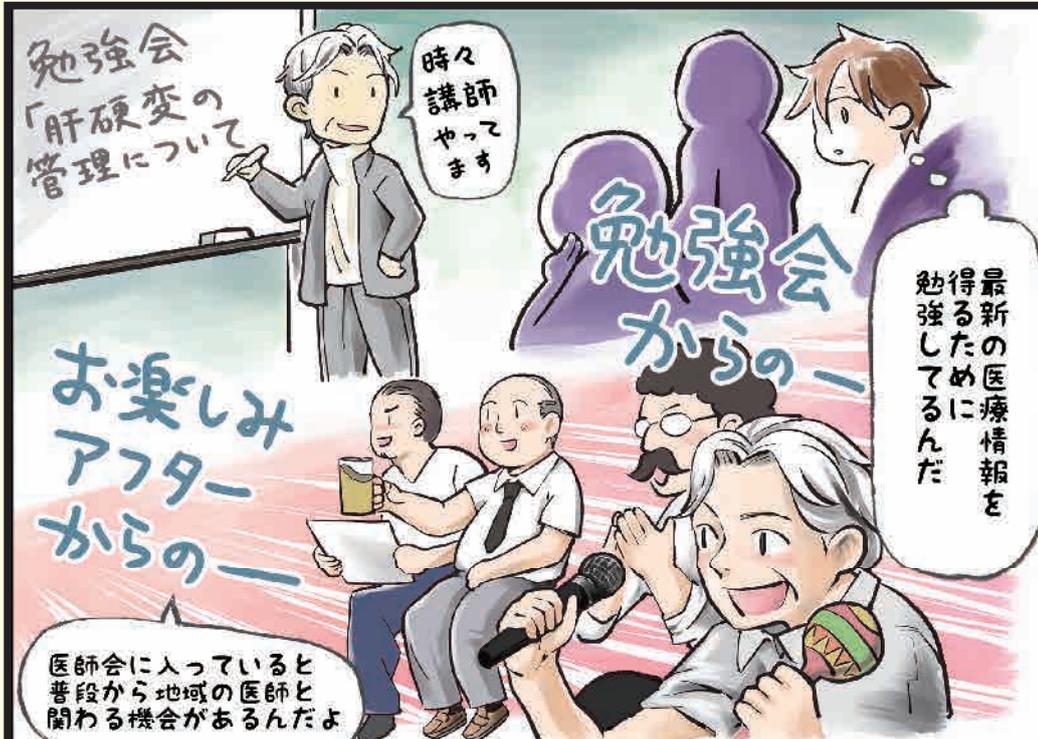


そうか
基幹病院の救急に
患者さんが
溢れずに済みませうね

病院

重篤な患者さんの
治療に専念できて
ありがたいね





医師会に入っていると普段から地域の医師と関わる機会があるんだよ

医師同士の交流でよりよい医療を円滑に提供できる!



眼科
〇〇診療所

かかりつけ医



検査が必要な大きな病院の先生を紹介しします

目の調子が悪いならいい眼科の先生を紹介しします

患者
Aさん

地域保健
(健康診断)



介護認定
審査

介護認定の審査には、医師会も委員として入っている。保険受給者の意見の調査もしている。必要となる。医師会の審査員として入っている。

安心できる老後のために

日本医師会年金

日本医師会年金は日本医師会が会員福祉の一環として昭和43年に発足させた、積立型の私的年金制度です。公的年金に上乘せる形で積み立てることができ、勤務先が変わっても継続できます。金利設定が比較的高いことも魅力のひとつです。

日本医師会会員の
ための私的年金

一生涯受け取れる
年金

保険料の増減は
自由

年金の受給開始を
75歳まで延長可能



生活

研究・進学などで 常勤ポストを離れたら

医師国民健康保険

医師とその家族・従業員のための健康保険で、保険料が比較的低く設定されています。

非常勤も
加入可

保険料が
比較的
安い

4つの安心

ている様々なサポート

生活・学習・女性医師の
してのあなたを支えます。

どこにいても 大学図書館並みのサービスを

日本医師会医学図書館

約89,000冊の蔵書、
約1,500タイトルの雑誌
を利用できます。

蔵書数は
大学図書館
並み

インター
ネットで
申込

複写を
全国各地に
発送可能

学習

分野を問わず、最新の医学・医療を学び続けるために

日本医師会生涯教育制度

国民の生命と健康に深く関わる医師が、継続的な自己学習・研修を効果的に行えるように作られた制度です。勤務医や若手医師が専門分野以外の情報や知識に触れる機会としても活用していただけます。e-ラーニングやセミナーなど様々な形式で、学習機会が提供されています。

要件を満たす
ことで認定証発行

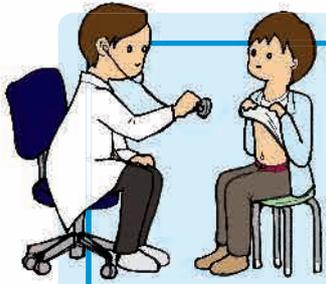
最新の情報に
触れられる

専門医の認定・
更新に利用

e-ラーニング
受講可能

各地域で
恒常的に開催





もしも医事紛争が起きてしまったら？

日本医師会医師賠償責任保険

近年では勤務医個人に対する訴訟も増えています。日本医師会医師賠償責任保険では、医療の専門家から構成される中立的な調査・審査機関が、賠償の有無や額を判断します。また、医師ができるだけ矢面に立つことなく紛争を解決できるよう、訴訟・示談などの交渉を支援する仕組みも整っています。

専門の調査・
審査機関がある

訴訟や
示談などを支援

勤務先を問わず
補償

退職・退会後も
サポート

診療

医師だと証明することが 必要なとき

日本医師会電子認証センター

日本医師会電子認証センターによって、医師の資格を証明する電子証明書と、ICカード化した医師資格証を発行しています。

電子証明書
の発行

ICカードの
医師資格証
発行

産業医として 働くためには？

日本医師会認定産業医制度

従業員50人以上の事業場には、産業医を置くことが法律で定められています。その産業医になるための研修および認定を受けることができます。

厚労省が
定める研修

勤務先の
選択肢が
増える

会員を支える

日本医師会が用意し

日本医師会は、診療・
4つの側面から医師と

女性医師

女性医師が、仕事と育児・家庭を両立するために

日本医師会女性医師支援センター／日本医師会女性医師バンク

医学部卒業生の3割以上が女性である現在、女性医師が出産・育児と仕事を両立できる環境づくりは医療界全体の課題であり、男性医師にとっても重要な問題です。日本医師会は、女性医師の働きやすい環境づくりに積極的に取り組んでいます。

女性医師
支援
センター

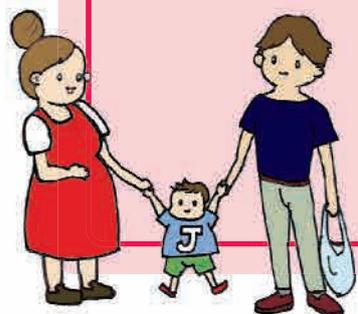
医学生や
研修医への支援

勤務環境の整備に
関する啓発活動

女性医師
バンク

専任コーディネーターが
実情に合わせた職場の紹介

女性医師が
アドバイザー



TOPIC 1

大学や都市部でなくても 教育・交流の機会を得られる

大規模な臨床研修病院を選べば、同期が複数いて、情報交換をしながら学ぶことができます。けれども、研修医が少ない病院では、互いに切磋琢磨する仲間・機会が不足しがちです。医師会は、様々な環境で働く研修医のために、学会や勉強会、交流会などを開催しています。

merit

1 県医師会の医学会で 研修医を表彰

沖縄県医師会

ポスター発表で 優秀者を表彰

沖縄県医師会では、研修医のモチベーションを高め、沖縄での研修の魅力を向上させるべく、2011年に「沖縄県医師会医学賞（研修医部門）」という賞を創設しました。学会の中で研修医がポスター発表を行う機会を年に2回設け、優秀者を各回3名選出・表彰しています。発表者の選出は、各研修病院の指導医が1〜2名の研修医を推薦する形で行われます。

ポスター発表の内容は、研修中に経験した症例の報告が多いそうです。自らの経験に基づいた発表を行うことで学びを深め、その知識を若手同士で共有できる場になっています。

表彰されることが誇りと モチベーションにつながる

表彰式は、1年目の研修医が参加するレセプションパーティーで行われます。頑張った成果を

後輩たちの前で表彰されることで、「誇りを持つことができる」「モチベーションの向上につながる」と、参加者たちは言います。こうした取り組みによって、表彰される研修医はもちろん、推薦する指導医のモチベーションも高め、研修の質、さらにはその地域の医療の質を高めていくことを目指しているのです。



2 どの研修病院所属でも、質の高い トレーニングが受けられる

千葉県医師会

質の高いトレーニングを すべての研修医に

研修医は様々な病院で研修を受けることとなりますが、どんな病院で研修を受けるかによって、得られる情報や身につけられる技術に格差が生まれてしまっているのではないかと、という声も聞かれます。

そうした心配をなくするため、千葉県医師会では、NPO法人千葉医師研修支援ネットワークおよび千葉大学医学部附属病院と協力して、誰でも質の高いトレーニングを受けることができる環境を整えています。

具体的には、高価ですべての病院には置くことのできないようなトレーニング用機器を、大学病院内の「千葉県医師キャリアアップ・就職支援センター」に集約し、広く研修医を招いて、セミナーを行っています。この取り組みにより、研修医はどの研修病院に所属していても、高度な機器を使用したトレーニング

を受けることができます。

シミュレーターを使用した 実技セミナーが人気

なかでも研修医に人気なのが、シミュレーターを使用した実技セミナーです。セミナーには「単発型」と「学習所型」があり、目的や用途によって形式が異なりますが、学習所型では10時間近くのトレーニングを受けられ、即戦力になれるぐらいの技術を身につけることができます。安全な環境で何度も手技を練習できるのは利点といえます。



3 医学図書館や 生涯教育制度を利用できる

日本医師会

必要な文献をコピー・郵送

大学病院に勤務している場合には大学の図書館を利用できず、地域の中小規模の医療機関に勤務する場合、大学の図書館は利用できなくなるか、利用できても遠くて通えないことが考えられます。そうした際に便利なのが日本医師会医学図書館です。日本医師会医学図書館では、大学と同等程度の文献を取り揃えており、郵送やFAX、インターネット等で申し込みを行えば、必要な文献のコピーを郵送してもらうことができます。他にも、希望した雑誌の最新号の目次コピーを定期的に届けてもらえるサービスや、特定のテーマに沿った文献をリスト化してくれるサービスなどがあります。

生涯教育制度の提供

また、日本医師会には、体系的に新しい知識や技術を身につけることのできる生涯教育制度があります。この制度で定める

単位とカリキュラムコードを合計60以上取得すると、「日医生涯教育認定証」を得ることができ、更新要件等としても、生涯教育制度は利用されています。

単位やカリキュラムコードは、日本医師会e-ラーニングでの学習のほか、日本医師会雑誌に掲載される問題に解答したり、定められた講習会・講演会・ワークショップ等に参加するなど、様々な方法で取得できます。いづどこにいてもすぐに学べる機会が整えられています。



TOPIC 2

非常勤など、 多様な働き方を支える

もし、大学院進学や育児・介護との両立などによって常勤ポストを離れることになったら、勤務医として働いていた頃は当たり前のように受けられていたサポートが受けられなくなる場合があります。医師会は、そうした時にも医師にとって役に立つ仕組みを整えています。

situation

常勤ポストを離れ、組織のサポートが受けられなくなったら

社会保険の加入は国民の義務

みなさんは、自分が健康保険と公的年金に加入する義務があることをご存知ですか？ 学生時代は保護者が手続きをする場合も多いため、知らない人も少なくないかもしれません。

臨床研修医になると、所属先の健康保険や厚生年金に加入することになります。手続きは職場の事務職員によって行われ、保険料は給与から天引きされる形になるので、あまり意識されません。医師に限らず組織で働く人の多くが、健康保険や年金への加入手続きについて考えたこともないでしょう。

しかし医師はキャリアのなかで、大学院進学や育児・介護との両立などのために、常勤として組織に所属しない期間が生じることがあります。その時期は、健康保険や公的年金に自ら加入しなければなりません。この手続きのためには平日に役所に行く必要があるといった事情もあ

り、知らず知らずのうちに年金未加入期間ができてしまった医師も少なくないといえます。

医師会は、医師年金を運営し、医師個人の生活を支援しています。これらは非常勤や大学院生の医師でも利用できます。また併せて日本医師会医師賠償責任保険（医賠償）に加入することで、非常勤で勤務する医療機関でも補償を受けることができます。

	健康保険	年金	医賠償
常勤	😊 職場で手続きを してもらおうことがほとんど	😊 施設として加入している 機関は多い	😞
非常勤	😊 国保 自分で手続きが必要	😊 国民年金	😞 個人の賠償責任は自分で 医賠償に入る必要あり

医師会に入ると？

↑
医師国保
保険料がお得

+

医師年金

↑
日医の医賠償

1 医師にメリットが大きい

医師国民健康保険

医師国民健康保険組合

健康保険には
様々な種類がある

日本国内に居住している全ての国民は何らかの健康保険に入ることが義務づけられています。月々決められた保険料を納めることで、3割負担で診療を受けたり（後期高齢者を除く）、保健サービスを受けたりすることができません。

国民はそれぞれの立場に応じて下記のどれかの保険に入ります。1つ目は、企業など組織で働く人のための保険です。大企業の従業員なら「健保組合」、公務員なら「共済組合」、中小企業の従業員なら「全国健康保険協会（協会けんぽ）」にそれぞれ加入します。これらは併せて「被用者保険」と呼ばれます。2つ目は、自営業の人や働いていない人が入る「国民健康保険」です。これらは市町村で運営されているので、「市町村国保」とも呼ばれます。保険証を見れば、どの保険に入っているかわかります。

医師による医師のための
健康保険がある

勤務医は「被用者保険」に入っている場合が多いでしょう。そして留学や研究などで常勤を離れた場合、「市町村国保」に加入する流れが一般的かもしれませんが、ただここで注意したいのは、市町村国保の保険料は、前年度年収によって決められるということです。比較的年収の高い医師が市町村国保に加入すると、かなりの額の保険料を納めなければならなくなります。

そこでお勧めしたいのが、医師国民健康保険（医師国保）への加入です。医師国保は、医師とその家族・従業員が加入する自助的な保険です。各都道府県に組合があり、医師会員であれば加入できます（一部を除く）。医師が自ら運営し、保険料を決定したり、各種検診などの保健サービスを運営しているので、医師にメリットの大きい健康保険なのです。

2 産業医の認定を受ければ

勤務先の選択肢を増やせる

日本医師会認定産業医制度

産業医として働くという
選択肢

みなさんは、産業医として仕事をするという選択肢を考えたことがありますか？

産業医とは、労働者が健康で快適な作業環境のもとで仕事をし、安全衛生法によって、常時50人以上の労働者が従事する事業場には産業医を選任することが義務づけられています。また、さらに労働者の多い事業場や有害業務を行う事業場では、専属の産業医を選任することも義務づけられています。雇用主によって求められる勤務形態は様々ですが、病院等での診療業務とは違った働き方ができるといえるでしょう。

日本医師会で認定産業医の
称号を得られる

産業医として働くためには、厚生労働大臣が定める研修を修

了するといった要件を満たす必要があります。「日本医師会認定産業医制度」も、その要件のひとつです。基礎研修の50単位を修了することで、日本医師会認定産業医の称号を得ることができ、産業医として働くことができるようになります。

こうした資格を取得しておくことで勤務先の選択肢が増えれば、常勤ポストを離れても安定して働ける可能性が高まるかもしれません。

日本医師会認定産業医の取得に必要な基礎研修内容

- ①前期研修 (14 単位以上) : 入門的な研修
総論 (2 単位) ・健康管理 (2 単位) ・メンタルヘルス対策 (1 単位) ・健康保持増進 (1 単位) ・作業環境管理 (2 単位) ・作業管理 (2 単位) ・有害業務管理 (2 単位) ・産業医活動の実際 (2 単位)
- ②実地研修 (10 単位以上) : 主に職場巡視などの実地研修、作業環境測定実習などの実務的研修
- ③後期研修 (26 単位以上) : 地域の特性を考慮した実務的・やや専門的・総括的な研修

TOPIC 3

医師を引退した後の 備えができる

医師は生涯現役を続けることのできる仕事ですが、
いずれは引退してゆっくり暮らしたいと思うかもしれません。
医師会には、引退した後も安心して生活を送るための資産形成の仕組みがあります。

situation

異動が多い医師は
サラリーマンより年金が少ない!?

異動で年金受給額が減る?

みなさんは、将来自身が受け取ることになる年金の額について考えたことはありませんか？ 医師は、異動が多いことが原因で、一般企業に勤務する人に比べ年金の受給額が少なくなる可能性があることをご存知でしょうか。

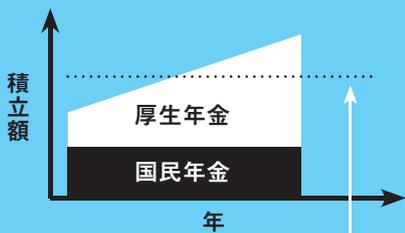
一つの企業に生涯勤務した場合、その積立額は勤続年数が長くなるにつれ増えていきますが、医師は勤務先が変わるたびに、様々な公的年金を転々とすることになります(図)。例えば国立病院や一般病院なら厚生年金

開業医なら国民年金と、仕組みの違う年金を行ったり来たりする可能性があるのです。そのため、いざ年金を受け取るうと思ったら想定よりも少額だった：ということがあり得ます。これでは、引退後も安心して暮らせる額を受け取ることができるとか、不安になりますよね。

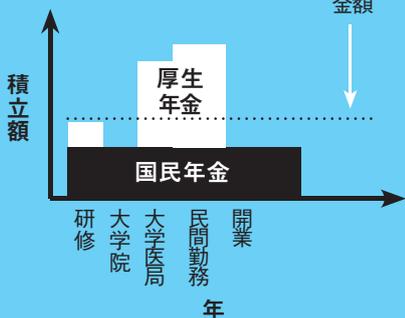
仮に定年まで勤務医を続けた場合に受け取ることのできる公的年金は、配偶者と合わせても月30万ほど(手取り)だと言えます。そこで活用したいのが、日本医師会年金なのです。

年金積立額 (イメージ)

一般企業に勤務する人の場合



医師の場合



1 年金の積立を増やして、 老後の生活も安心！

日本医師会年金

勤務先が変わっても継続

日本医師会年金（以下、医師年金）は、公的年金とは別の、積立型の私的年金です。すなわち、公的年金の補完や上乘せのために積み立てることのできる年金なのです。一度加入すれば、勤務先が変わっても継続して積み立てることができます。

医師年金の保険料には、基本年金保険料と加算年金保険料があります。基本年金保険料は加入者全員が一律に、加算年金保険料は任意で納める形式になっています。加算年金保険料には上限がなく、いつでも増減が可能です。収入が安定しない時期には加算年金保険料を抑え目にして、逆に余裕のある時期には多く納めるなど、ライフステージに合わせた設計が可能です。

金利設定も魅力的！

将来の備えというと、医師年金でなくても、銀行預金や他の金融商品でもいいのでは？と

思う方も少なくないかもしれません。そこで、医師年金のメリットをご紹介します。

まず、事務手数料が少額という点です。医師年金の事務手数料は、保険料に対して0・25%です。これは、他の私的年金商品の事務手数料が1〜2%程度であるのに比べて少額ですので、その分積立に充てられる金額も多くなります。

さらに、金利設定が比較的高い点です。医師年金は、保険料に対して複利で年1・5%の利息がつきます（2016年12月現在）。通常の銀行預金と比べると定期預金（3年）では高くても0・2%程度ですので、高い金利であるといえるでしょう。

事務手数料が少額！

現在、金利設定が定期預金より高い！

2 養老年金以外にも様々な 受け取り方ができる

日本医師会年金

病気療養時など万が一の時に

医師年金は、基本的には満65歳から一生涯受け取ることのできる養老年金ですが、加入者のニーズに合わせて、他の受け取り方を選択することができます。

ひとつは、加入者本人が傷病によって診療に従事できなくなった時に利用できる傷病年金です。それまでに積み立てた加算年金保険料から切り崩す形で、療養中に受け取ることができま

また、もし加入者本人が死亡した場合、遺族は遺族年金または遺族一時金を受け取ることができます。本人が受給前に死亡した場合は遺族一時金を、受給中に死亡した場合は、残りの給付期間のあいだ同額の遺族年金あるいは遺族一時金を受け取ることができます。

このように医師年金は、自身の生活を安定させるだけでなく、万が一の場合、家族の生活の支えともなる年金なのです。他にも、お子さんの教育資金のために育英年金として受け取ることができます。

受け取り方は自由！



TOPIC 4

育児・介護と仕事の 両立を支援する

育児や介護をしながらでも働き続けられる仕組みや、一旦仕事を離れてもスムーズに復帰できる仕組みがあったら理想的ですね。医師会は、育児・介護と仕事の両立支援や、就業支援を行っています。

merit

1 女性医師の就業を支援

日本医師会女性医師バンク

地域の実情を把握した
マッチングが可能

日本医師会では、女性医師の就業を支援するため、無料の職業紹介業として女性医師バンクを運営しています。女性医師バンクでは、専任コーディネーターがそれぞれの女性医師のライフスタイルに合わせた就業先や再研修先の紹介を行っており、地域や医療現場の実情を把握し、アドバイザーの医師とともに、きめ細やかなマッチングに努めています。

女性医師の抱える問題に
親身に相談に応じます

アドバイザーは「医師としての先輩」にあたります。仕事の大変さや、病院や診療科による働き方の違い、育児や介護と両立しながら働く上で必要なサポートは何か…など、当事者として向き合ってきた医師が相談に乗ることになりますので、安心してご利用いただけます。

コーディネーターと
アドバイザーが
サポートします！



市内の託児所と契約し、 会員が子どもを預けやすい体制

徳島県医師会

**託児所の年会費が無料に！
保育料金も割引される**

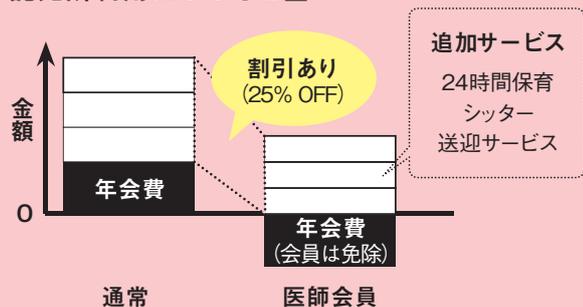
各地の医師会では、様々な保育支援を行っています。例えば徳島県医師会は平成20年から、市内の託児所2か所の協力を受け、医師会員を対象とした保育支援システムを築いています。

このシステムの特筆すべきメリットは、料金面で優遇が受けられるということです。具体的には、医師会員であれば提携保育所の年会費を医師会に全額負担してもらえます。かつ月々の保育料や延長保育・二重保育なども割引料金で受けられる仕組みになっているのです。育児と仕事を両立することを考えたとき、保育料は家計の大きな負担となります。このサポートは、その意味で非常に役に立つものだといえるでしょう。

**延長保育や二重保育を
安定して受けられる**

医師会と託児所が契約するこ

託児所利用にかかるお金



とによって、個人契約ではスタッフの確保が難しかった延長保育や二重保育も安定的に受けられるようになりました。病院からの予定外の呼び出しなどの際にも、比較的に利用しやすくなっています。他にも、研修会等でミーティングを設置するなど、育児中でもスキルアップのための場に参加しやすい環境を整えています。

先輩たちがどんなキャリアを 歩んできたか、話を聴ける

各都道府県医師会

**研修医・若手医師の
キャリアをサポートする**

仕事を続けていくうえでは、結婚・出産・育児・介護・自身の病気など、様々なライフイベントが訪れることになるでしょう。そうしたなかで、自身が医師としてどのようにキャリアアップしていくかを考えるには、先輩たちの話は非常にためになります。各都道府県医師会では、先輩たちのキャリアについて、体験談を聴くことができる機会を定期的に設けています。

**勤務医・開業医・研究者など
様々な立場から話が聴ける**

例えば、ある都道府県医師会では、年に1回、勤務医・開業医・研究者など様々な立場の先輩を招き、専門領域の選択のきっかけやキャリアにおけるターニング・ポイント、仕事と家庭の両立などについて話を聴くことのできる「医学生・研修医のためのキャリアサポートセミナー」

を開催しています。医学生や研修医も気軽に参加できるよう、参加費は無料です。また、壇上での講演だけでなく、お菓子を食べながら講演者の先生と歓談することのできる時間も設けられています。

各都道府県で行われている会の具体的な内容については、各都道府県医師会のWEBページ等に掲載されています。みなさんも是非、自身が勤務する地域の医師会を調べてみてください。



TOPIC 5

医事紛争から 医師を守る

医療事故が起こってしまった時、患者さんが治療の結果に納得しなかった時など、もし訴訟を起こされてしまったら、医師には大きな負担がかかります。医師会には、そうした「もしもの時」のためのサポート体制があります。

merit

1
専門の機関が調査し、
手続きを支援！

日本医師会医師賠償責任保険

専門家が調査・審査

医師賠償責任保険（以下、医師賠償）とは、紛争解決のサポートを受けられる保険です。勤務医個人に対する訴訟も増えているいま、勤務医も加入必須の保険です。日本医師会医師賠償には大きなメリットが2つあります。

まず、日本医師会医師賠償には、医師、医療に詳しい弁護士、保険者などで構成される、中立的な調査・審査機関があることです。事件を一つひとつ調査し、賠償責任の有無や額を判断します。専門家による調査・審査が行わ

れることは、医師の安心につながります。

訴訟や示談などを支援

また、医師ができるだけ矢面に立つことなく紛争を解決できるよう、訴訟・示談などの交渉を支援する仕組みが整っています。訴訟が起こった場合、民間の医師賠償では自ら弁護士の手配を行わなければなりません。医師会は医療を専門とする弁護士の手配から費用負担まで、当事者に代わって行います。和解や示談の場合にかかった費用も補償されます。

日本医師会
医師賠償責任保険は…

中立的な調査・
審査機関がある

訴訟・示談などの
交渉を支援する

勤務先を変更した場合も

補償の範囲内

日本医師会医師賠償責任保険

勤務先にかかわらず補償

日本医師会医賠償は医師個人を対象とした保険なので、国内であれば勤務先を問わず、事故が起こった際には補償されます。勤務先の病院の意向や加入している保険の種類にかかわらず、1事故につき1億円まで補償されるのです。医療事故の被害者には十分な補償がなされるとともに、医師自身が安心して診療できるようにするための仕組みが整っています。

医師会員は誰でも加入可能

日本医師会医賠償は、医師会員になれば被保険者になれる仕組みとなっており、年間の保険料は会費に含まれます（ただし、研修医は会費を無料化しているため、保険料のみの負担となります）。保険料の相当額は年間で3万3000円（研修医）〜6万6000円（開業医）と、民間保険に比べると金額も安くなっています。

ここまで述べた他にも、日本医師会医賠償には民間の保険に比べてメリットがあります（表）。ぜひ比較してみてください。

	日本医師会医賠償	民間保険
責任判断	中立的な調査・審査機関	保険会社
弁護士の手配	都道府県医師会	医師本人または保険会社
加入手続き	医師会に入会すれば手続き不要	医師自ら申し込み
保険料（研修医）	33,000円	40,000円～50,000円程度
本人死亡後の賠償補償	あり	なし（別途契約）

医療事故調査制度

不当な責任追及を避ける

もし医療事故の原因が病院のシステムの不備によるものであったとしたら、その責任を医師個人に負わされることがあつてはなりません。しかし、これまで医師個人が刑事訴追を受け、数年に及ぶ裁判の後に、無罪が確定したケースもありました。

そこで日本医師会は、個人への責任追及を目的とせず、病院が自律的に医療事故の原因調査・再発防止に努めるための制度を創設するべく、精力的に取り組んできました。その制度が、平成27年10月から施行された医療事故調査制度です。医師会は、こうした制度の創設にも大きな

役割を果たしています。

医療の枠内で解決を図る

具体的には、診療所や小規模病院を含むすべての医療機関で、予期しない死亡事例が発生した場合、第三者機関に報告するとともに、院内で原因を調査することが義務づけられました。更なる分析が必要な場合は、第三者機関が原因究明を行い、再発防止のための提言を行います。死亡事例を、第三者機関へ報告することで、医療関連死を出来る限り医療の枠組みの中できちんと調査することを担保するとともに、医療提供者個人への不当な責任追及を防ごうとするのがこの制度なのです。



これからの発表や研究の基礎になる経験ができました

沖縄県医師会医学会賞

利用者 A さん

私は臨床研修中に、県医師会の研修医向け医学会で発表し、賞をいただきました。応募したきっかけは、研修で消化器内科を回ったときの経験でした。当時、肝性脳症による意識障害のある、若年成人の患者さんを診る機会がありました。肝性脳症は、有害物質であるアンモニアが体内に溜まることにより意識障害を起こす疾患です。多くは肝硬変など肝臓の機能が障害されていたり、シャントが起こってアンモニアが体内に回ってしまう場合に発症することが多いのですが、この患者さんの場合、肝性脳症を起こす一般的な原因が全く見られず、何度か同じ症状で運ばれてきては、原因

不明とされていきました。気になつて、患者さんが退院した後も、上の先生に相談しながら論文などを読んで調べました。すると、小児では先天性の遺伝子欠損によつてこのような症状を引き起こす例があることがわかり、それがこの患者さんにもあてはまるのがデータから推測されました。若年成人では珍しい例だったので、「こういう症例もあります」と学会で発表したところ、賞をいただくことができました。このように論文や資料などを自分で探して調べた症例発表は初めてでした。これからの発表や研究の基礎になるような経験ができたので、とてもいい機会をいただいたと思つています。

ICE

先輩の体験談

大学院生のとき、医賠責や医師国保は頼れる存在でした

医賠責・医師国民健康保険

利用者 B さん

私は研修を終えて大学の医局に入り、30代になった頃に大学院生になりました。それまでは勤務先で医賠責や健康保険の加入手続きを行って来ていたのですが、大学院生になると加入すべき制度も変わりますし、手続きも自分で調べて行わなければなりません。どうしようかなと思つていたとき、父から「医師会の制度を使つたらどうか」と勧められました。父は公立病院の副院長だったので、医師会のサポートについて詳しくあったんです。そこで私は大学医師会を通じて医師会に入会しました。

常勤ポストがなく、市中病院でのアルバイトがメインになる大学院生にとって、すべての勤務先で補償を受けられる医師会の医賠責は本当に心強かったです。また医師国保も保険料が安く、手続きもさほど大変ではありませんでした。研究が思つように進まなくて、医局にも組織にも守ってもらえなくなるのでは、という不安の中で、医師会に入っていることの安心感もありました。私はたまたま父が勧めてくれたおかげで医師会のサポートを知ることができましたが、若手医師はそういう情報を知る機会がありません。今回の冊子のように医師会が積極的に情報発信をしていただければ、勤務医や大学院生も医師会を活用しやすいのではないかなと思います。

家庭中心の働き方から、 総合病院の産婦人科へ 復帰できました

日本医師会女性医師バンク

利用者 C さん

私は関東の大学を卒業して、産婦人科の医師として系列病院で5年研修を受け、そのあと大学院に進学しました。大学院の間に妊娠・出産し、学位を取った後、さらに1年だけ系列病院に勤めてから、主人の地元である関西の病院に就職しました。

このころは非常に多忙でしたが毎日が充実していて、楽しく働いていました。しかしその反面、家庭が疎かになっていったのも事実でした。子どもが不安定になったり家族が大きな病気をしたりして、「もっと家庭を大事にしたい」という気持ちを持つようになりました。

そこで不妊治療の専門病院に転職しました。不妊治療は特殊

領域ですので、一度しっかりと勉強してみたいと思っていたのも理由のひとつでした。ただ、結果的に自分には合わないなと思うたのと、やはりお産が好きなので、再び周産期医療に戻りたいと思い、以前からホームページで知っていた女性医師バンクに相談しました。

復帰の際の不安はもちろんありましたが、周産期医療から数年離れていた間に、新しい知見が出ていたり、治療のスタンダードが変化したりした部分もあったので、対応してついでに行くのが大変でした。ただ、私より下の世代の先生たちも快くいろいろなことを教えてくれる環境で、本当に働きやすいと感じます。

VOI

医師会に入った

空白があっても、 専門医を取れる環境を 探すことができました

日本医師会女性医師バンク

利用者 D さん

私は学生結婚で、大学卒業時点で2人の子どもがいました。卒業後は育児が忙しく、医局にも入らずにいました。少し落ち着いたところ、友人の紹介で理解ある麻酔科の教室に受け入れていただき、研究生として無給で1年間勉強させていただきました。その後、非常勤で麻酔科医として働いていたのですが、主人が実家の眼科医院を継ぐことになり、私もその手伝いをすることになりました。経営に加えるスタッフの教育も全部私が担当することになり、医師としての仕事からは離れてしまいました。

医院経営も子育ても落ち着いた頃、「自分もそろそろ医師としての仕事をしたい…」と思い

始め、思い切って主人に「研修に行きたい」と相談してみました。すると「せっかく行くなら、眼科の専門医を取ってこい」と言ってもらえたので、そういう条件で働けるところを探そうと、女性医師バンクに相談しました。私のようにバンクが空いてしまつと一人で探すのも難しいだろうと思ったからです。

今は大学の臨床研修センターの医員として、後期研修医の方々と同じ研修を受けさせていただいています。不安もありましたが、周りの方々のサポートもあって助かっています。大学では、医院の症例とはまた違った先進的なことも多く学べるので、日々とても充実しています。

入会のご案内

医師会に入会するには？

医師会入会のフロー

医師会は、国・都道府県・市町村（広域）の3層で役割分担をしています。

すなわち、住民に最も近い市や郡のレベルで活動する「郡市区等医師会」と、それらの活動を取りまとめ、都道府県レベルで活動する「都道府県医師会」、そして国の制度やルールへの働きかけを中心に活動する「日本医師会」の3層に分かれています。

これらはそれぞれ独立した組織で、縦のネットワークでつながっています。

（大学医師会も郡市区等医師会の一環であり、大学等で医療に従事する医師は、大学医師会に入会する場合があります。）

入会手続きは、所属医療機関のある郡市区等医師会を通じて行いますので、直接お問い合わせ下さい。

また、窓口となる郡市区等医師会が不明な場合は、以下のステップのとおり、まずは所属医療機関のある都道府県医師会にお問い合わせ下さい。

- (1) 所属医療機関のある都道府県医師会に、「日本医師会に入会したい」と問い合わせる。
- (2) 都道府県医師会から、窓口となる郡市区等医師会（あるいは大学医師会）を紹介してもらう。
- (3) (2)で紹介してもらった窓口へ、郡市区等医師会・都道府県医師会・日本医師会への入会申込書を提出する。



臨床研修医の年会費について

日本医師会は2015年度より、臨床研修医の年会費（6,000円）を無料化しました。

また、医師資格を証明する ICカード「医師資格証」につきましても、無料にて発行しています。

さらに、多くの都道府県医師会・郡市区等医師会におきましても、年会費の減免等が講じられています。詳しくはそれぞれお問い合わせ下さい。

都道府県医師会連絡先一覧

連絡先		
北海道医師会	電話	011-231-1432
	FAX	011-221-5070
青森県医師会	電話	017-723-1911
	FAX	017-773-3273
岩手県医師会	電話	019-651-1455
	FAX	019-654-3589
宮城県医師会	電話	022-227-1591
	FAX	022-266-1480
秋田県医師会	電話	018-833-7401
	FAX	018-832-1356
山形県医師会	電話	023-666-5200
	FAX	023-647-7757
福島県医師会	電話	024-522-5191
	FAX	024-521-3156
茨城県医師会	電話	029-241-8446
	FAX	029-243-5071
栃木県医師会	電話	028-622-2655
	FAX	028-624-5988
群馬県医師会	電話	027-231-5311
	FAX	027-231-7667
埼玉県医師会	電話	048-824-2611
	FAX	048-822-8515
千葉県医師会	電話	043-242-4271
	FAX	043-246-3142
東京都医師会	電話	03-3294-8821
	FAX	03-3292-7097
神奈川県医師会	電話	045-241-7000
	FAX	045-241-1464
新潟県医師会	電話	025-223-6381
	FAX	025-224-6103
富山県医師会	電話	076-429-4466
	FAX	076-429-6788
石川県医師会	電話	076-239-3800
	FAX	076-239-3810
福井県医師会	電話	0776-24-0387
	FAX	0776-21-6641
山梨県医師会	電話	055-226-1611
	FAX	055-226-1614
長野県医師会	電話	026-219-3600
	FAX	026-235-6120
岐阜県医師会	電話	058-274-1111
	FAX	058-271-1651
静岡県医師会	電話	054-246-6151
	FAX	054-245-1396
愛知県医師会	電話	052-241-4151
	FAX	052-241-4130
三重県医師会	電話	059-228-3822
	FAX	059-225-7801

連絡先		
滋賀県医師会	電話	077-514-8711
	FAX	077-552-9933
京都府医師会	電話	075-354-6101
	FAX	075-354-6074
大阪府医師会	電話	06-6763-7000
	FAX	06-6764-0267
兵庫県医師会	電話	078-231-4114
	FAX	078-231-8111
奈良県医師会	電話	0744-22-8502
	FAX	0744-23-7796
和歌山県医師会	電話	073-424-5101
	FAX	073-436-0530
鳥取県医師会	電話	0857-27-5566
	FAX	0857-29-1578
島根県医師会	電話	0852-21-3454
	FAX	0852-26-5509
岡山県医師会	電話	086-250-5111
	FAX	086-251-6622
広島県医師会	電話	082-568-1511
	FAX	082-568-2112
山口県医師会	電話	083-922-2510
	FAX	083-922-2527
徳島県医師会	電話	088-622-0264
	FAX	088-623-5679
香川県医師会	電話	087-823-0155
	FAX	087-823-0266
愛媛県医師会	電話	089-943-7582
	FAX	089-933-1465
高知県医師会	電話	088-824-8366
	FAX	088-824-5705
福岡県医師会	電話	092-431-4564
	FAX	092-411-6858
佐賀県医師会	電話	0952-33-1414
	FAX	0952-33-0102
長崎県医師会	電話	095-844-1111
	FAX	095-844-1110
熊本県医師会	電話	096-354-3838
	FAX	096-322-6429
大分県医師会	電話	097-532-9121
	FAX	097-537-4764
宮崎県医師会	電話	0985-22-5118
	FAX	0985-27-6550
鹿児島県医師会	電話	099-254-8121
	FAX	099-254-8129
沖縄県医師会	電話	098-888-0087
	FAX	098-888-0089

(平成29年1月1日現在)

日本医師会

【にほんいしかい】

日本で唯一医師を代表する職能団体。1916年に北里柴三郎博士らによって設立され、1947年には社団法人として、また、2013年には公益社団法人として認定された。47の都道府県医師会の会員から構成されているが、それぞれの医師会は独立した法人組織である。会員の構成は開業医と勤務医が約半数ずつを占める。日本医師会の行う事業は、医道の高揚、医学教育の向上、医学と関連科学との総合進歩、生涯教育などを含む幅広いものである。

日本医師会綱領

日本医師会は、医師としての高い倫理観と使命感を礎に、人間の尊厳が大切にされる社会の実現を目指します。

1. 日本医師会は、国民の生涯にわたる健康で文化的な明るい生活を支えます。
2. 日本医師会は、国民とともに、安全・安心な医療提供体制を築きます。
3. 日本医師会は、医学・医療の発展と質の向上に寄与します。
4. 日本医師会は、国民の連帯と支え合いに基づく国民皆保険制度を守ります。

以上、誠実に実行することを約束します。

DOCTORASE（ドクターゼ）は、日本医師会が年4回発行する医学生向け無料情報誌です。